

2021年度 事業計画

総論

自 2021年4月 1日

至 2022年3月 31日

部会長 中村 和也

スローガン

『 和衷協同（わちゅうきょうどう） 』

～状況変化の激しい時代だからこそ、心あわせて創意と工夫で前に進む～

2021年度、部会長を拝命しました中村です。昨年度は、コロナウィルス感染症の拡大によって初めての経験を余儀なくされ、多くの事業や会議も中止となりました。そのような状況で、会員同士が顔合わせ機会も減り、力を合わせて物事を成し遂げることもなくなりました。また、法人会青年部会から気持ちが離れていった仲間もいました。そのような模索する一年ではありましたが、青年部会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。

一方で、一年間コロナウィルス感染症と戦ってきて、我々は多くのことを学び経験しました。この学びと経験を活かし、前例に囚われない法人会青年部会らしい活動を和衷協同※1して進めていきたいと存じます。一人一人の力は小さくても心を合わせ、知恵を絞り協力していきましょう。会員の皆様には、より一層の積極的なご参加、ご協力をお願い申し上げます。

※1. 心を同じくして共に力を合わせ、仕事や作業に当たること。

青年部会活動方針

1. 総務・広報委員会

青年部会の活動を取りまとめる役割として、総会ならびに毎月開催される役員会を主体的に設営・運営します。情報発信としては、青年部会の会員手帳を監修・発行し、青年部会活動を円滑に進めるために名刺を作成致します。また、半田法人会の会員であるメリットを内外に発信し、会全体のより一層の活性化を図ります。さらには、新入会員を増やす活動をはじめ各事業に積極的に参加・協力します。

- ・総会ならびに役員会の設営・運営
- ・会の福利厚生制度ならびに利点の発信・周知
- ・その他、会員拡大をはじめとした各委員会活動への協力・参加

2. 会員交流委員会

会員同士が交流を通じ、会全体が活性化するために交流事業を実施します。本会および青年部会 OB との交流をはじめ、全国青年の集い（全国大会）や愛知県法人会青年部会連絡協議会（以下、「青連協」という。）の活動などの様々な事業への積極的な参加を促し、交流を通じて絆を深め、会員企業ならびに会の持続的発展に寄与します。また、税務知識の向上を図るため税務当局と協力し、内外に対

して青年部活動の発信に努めます。さらには、新入会員を増やす活動をはじめ各事業に積極的に参加・協力します。

- ・本会ならびに他団体との交流
- ・佐賀県で開催される全国青年の集いの取りまとめ
- ・署長講演と新入会員オリエンテーションの開催
- ・その他、会員拡大をはじめとした各委員会活動への協力・参加

3. 特別事業委員会

SDGsの行動目標を意識し、高校生への租税教育活動である高校生フォーラムを企画・運営します。また、本会主催の税を考える週間事業に参加・協力します。さらには、新入会員を増やす活動をはじめ各事業に積極的に参加・協力します。

- ・高校生フォーラムの開催
- ・本会主催の税を考える週間事業への参加・協力
- ・その他、会員拡大をはじめとした各委員会活動への協力・参加

4. 租税教育推進委員会

SDGsの行動目標を意識した租税教育活動を通じて、小学生に租税の意義や役割について主体的に考える機会を提供する取り組みを実施します。また、我々自身が、より一層、質の高い活動を行う為に、前例にとられる事なく講師の育成に努めます。さらには、新入会員を増やす活動をはじめ各事業に積極的に参加・協力します。

- ・税関見学会の開催
- ・租税教室の講師育成
- ・租税教室への協力、参加の取りまとめ
- ・その他、会員拡大をはじめとした各委員会活動への協力・参加

5. 健康経営推進委員会

青連協でも推奨している健康経営について推進するため、知識の向上を図るとともに青年部会会員に取り組みを促します。また、法人会用の健康経営宣言の新たな獲得と実践のフォローを行います。さらには、新入会員を増やす活動をはじめ各事業に積極的に参加・協力します。

- ・健康経営に関する研修会の開催
- ・健康経営に関する事業の企画・開催
- ・その他、会員拡大をはじめとした各委員会活動への協力・参加

《数値目標》

1. 新入会員 11 社獲得（青年部会員数の 10%増）
2. 健康経営宣言を青年部会会員企業 30%獲得

以上、5つの方針で各種事業を計画・推進し、2つの数値目標達成に向けた取り組み行って参ります。

青年部会員の皆さまには、より一層のご理解ご協力を賜りたくお願い申し上げます。